

次の文を読み問1～問3に答えよ。(さわ110回予想的中)

Aさん(35歳、1回経産婦)は2歳になる児を保育園に預けて仕事している。

問1

妊娠27週0日の妊婦健康診査の結果は体重59kg(非妊時53kg(2週間で2kg増)子宮底長23cm、腹囲75cm、血圧109/78mmHg。尿蛋白(-)、尿糖(-)、浮腫(-)、Hb11.8g/dL、Ht34.9%、空腹時血糖値86mg/dL。「お腹も大きくなってきました。子供を抱っこするときに、1日2～3回程度お腹が張ります。出血や痛みはありませんが、胎動が激しく寝ていても目が覚めるほどです」と話す。

アセスメント結果で適切なのはどれか。

- 1, 妊娠貧血である
- 2, 切迫早産である
- 3, 妊娠糖尿病である
- 4, 体重増加が過剰である

問2

妊娠健康診査後、「通勤電車が満員で、座れずに朝からとても疲れてしまいます」と話す。

Aさんが取得できるのはどれか。

- 1, 産前休業
- 2, 育児休業
- 3, 時差出勤
- 4, 看護休暇

問3

次回妊婦健康診査を受診する時期として推奨されるのはどれか。

- 1, 1週間後
- 2, 2週間後
- 3, 3週間後
- 4, 4週間後

次の文を読み問4～問6に答えよ。(さわ110回予想的中)

A さん(38 歳、男性)は独身で1人暮らしである。統合失調症で過去に2度の入院経験があり薬物療法を行っていたが半年ほど前から薬を内服しなくなり、その頃から夜になると人の話声が聞こえて眠れなくなってきた。2か月ほど前からは1日中誰かが大声で話している声が聞こえ、自分のしようとするを全て否定されるため、道で大声で怒鳴ってしまうこともあった。事情を知った母親に判われて来院し、本日任意入院となった。

問4

A さんは看護師に「何をしてもいつもダメだと否定する声が聞こえてイライラする」と訴えた。

このときの A さんへの返答で適切なのはどれか。

- 1, 「それをつらいですね」
- 2, 「本当にうるさいですね」
- 3, 「私には聞こえないので気のせいですね」
- 4, 「今日は天気がいいですね。気晴らしに散歩でもしましょう」

問5

入院して2か月が経過した。独語は少なくなったが、1日中ベッドで寝ていることが多くなった。

A さんへの対応で適切なのはどれか。

- 1, リハビリテーションを導入する
- 2, 病状が悪化していると考え薬を増量する
- 3, 睡眠薬により睡眠と覚醒のリズムを調整する
- 4, 看護師を拒否していると考え患者と関わらないようにする

問6

入院して3か月が経過して症状が安定し、内服薬の自己管理も可能となったため来週退院して自宅に戻るようになった。A さんは「仕事への復帰時期はもう少し休んでから考えます。ただ病院と違って、家に帰ると話し相手がいないから寂しいです」と看護師に相談があった。

A さんに最も適している社会資源はどれか。

- 1, 福祉ホーム
- 2, 就労移行支援
- 3, 精神科デイケア
- 4, 自立訓練(生活訓練)

次の文を読み問7～問9に答えよ。(さわ110回予想的中)

Aさん(66歳、男性)は、既往歴に糖尿病と高血圧症があり通院中である。昨晚、就寝前に突然、左上肢に力が入らなくなったことを自覚した。様子を見ていたところ症状は消失したため就寝した。昨日の症状が心配になったとのことで来院した。意識は清明。体温36.6℃。脈拍76/分、整。血圧150/88mmHg。

問7

外来でおこなう検査で最も優先されるのはどれか。

- 1, 脳波検査
- 2, 筋電図検査
- 3, 心エコー検査
- 4, バレー徴候

問8

頸動脈エコーで動脈硬化で確認された。一過性脳虚血発作と診断され、抗血小板薬が処方された。Aさんは「聞いたこともない病名で驚きました。この病気のことについて教えてください」と外来看護師に話している。

- 1, 「脳梗塞をおこす可能性があるので生活習慣を見直しましょう」
- 2, 「飲酒はビールなら1日中瓶2本、日本酒なら2合程度にしてください」
- 3, 「次に力が入らなくなることがあってもすぐ治りますので心配ありません」
- 4, 「高血圧は動脈硬化を悪化させるので塩分は1日8g未満に控えてください」

問9

内服治療を続けていたが、再び脱力発作や眼前暗黒感がみられたため、頸動脈ステント留置術が実施された。術後の看護で適切なのはどれか。

- 1, 意識状態を確認する
- 2, 術後はバイタルサインを8時間おきに測定する
- 3, 術後の安静が保持できない場合は身体拘束をする
- 4, 拡張した血管は再狭窄することはないので脳梗塞様の症状は気にしなくて良い

次の文を読み問10～問12に答えよ。(さわ110回予想的中)

A さん(45歳、男性)は震度7の地震発生から24時間後、崩壊した建物の中から発見された。長時間両大腿部が圧迫されている様子であったが、意識は清明で呼吸や血圧は安定していた。救急隊により救出されて救急車で病院へ向かう途中に不整脈が出現し、病院到着後には褐色尿がみられた。

問10

A さんに起こった可能性が高いのはどれか。

- 1, PTSD
- 2, 狭心症
- 3, 心筋梗塞
- 4, クラッシュ症候群

問11

病院に搬送された A さんは両大腿の筋肉の挫滅が広範囲にみられた。血液検査の結果、骨格筋由来の CK の上昇が認められた。

その他に A さんに最も重要となる血液検査項目はどれか。

- 1, カリウム値
- 2, ナトリウム値
- 3, カルシウム値
- 4, マグネシウム値

問12

1か月が経過した。A さんは退院に向けてリハビリを行い、現在は杖で歩行ができるようになった。Aさんは看護師に「夜中に時々目が覚めてしまって、あの日の事が急に思い出されてドキドキして呼吸ができなくなるんです」と言った。A さんの状況のアセスメントで正しいのはどれか。

- 1, 幻覚
- 2, 妄想
- 3, 昏迷
- 4, フラッシュバック

次の文を読み問13～問15に答えよ。(さわ110回予想的中)

Aさん(39歳、男性)は妻と子供との3人暮らしである。3年前から会社の定期健康診断で高血糖を指摘されているが、自覚症状がないため放置していた。昨日から感冒症状があり、本日の会議の途中で気分不快を訴えてその場に倒れ込んだ。救急搬送された病院で、血圧172mm/92mmHg、脈拍110/分、呼吸18/分、体温36.9℃。血糖値842mg/dL、尿ケトン(±)であった。意識レベルⅢ-100である。

問13

Aさんに現在みられていると考えられるのはどれか

- 1, 低血糖
- 2, 腎不全
- 3, ケトアシドーシス
- 4, 高浸透圧高血糖症候群

問14

現時点でのAさんに最も必要なのはどれか。

- 1, 血液透析
- 2, 利尿薬の注射
- 3, 血糖降下薬の内服
- 4, インスリンの持続点滴

問15

入院翌日になり意識レベルは清明となった。血糖値195mg/dLである。検査の結果、インスリン分泌の低下が著しいことがわかり、内服治療が検討されている。Aさんは「今回は命拾いをしました。これを機にきちんと糖尿病の治療をしようと思います。何をすればいいか教えてください」と話している。自宅ではAさんの食事はすべて妻が用意している。

今のAさんに説明する内容として最も優先度が高いのはどれか。

- 1, 食品交換表
- 2, 食後の無酸素運動
- 3, インスリンの自己注射
- 4, 経口血糖降下薬

次の文を読み問16～問18に答えよ。(さわ110回予想的中)

Aさん(44歳、男性)は妻と2人の子供(14歳、10歳)との4人暮らしである。血尿を主訴として来院し、尿細胞診及び膀胱鏡検査の結果T3の膀胱がんと診断された。Aさんは20歳のときから毎日40本程度の喫煙をしているがアルコールは飲まない。脂質異常症の既往があり内服治療中である。手術が必要だと説明されたが「そんな大手術は受けたくない。なんとか切らずに治してください」と涙ぐんでおり、妻も同様に泣きじゃくっている。入院には同意したため2日後に入院となった。

問16

膀胱がんの基礎知識として適切なのはどれか。

- 1, 女性に多い
- 2, 腺癌が最も多い
- 3, 放射線療法は無効である
- 4, T3 では周囲脂肪組織まで浸潤している

問17

Aさんは医師や受け持ち看護師の説明により手術に同意した。3日後に膀胱全摘出術及び尿路変更術が予定された。禁煙及び呼吸訓練が開始となり、前日にはストーマサイトマーキングがおこなわれた。マーキングの位置として適切なのはどれか。

- 1, 臍直上
- 2, 左上腹部
- 3, 右下腹部
- 4, 恥骨上部

問18

予定通りの手術がおこなわれた。現在術後2日目である。排ガスはまだない。本日の看護ケアで最も優先度の高いのはどれか。

- 1, 浣腸する
- 2, 流動食を提供する
- 3, ストーマ色を観察する
- 4, パウチから尿を捨てる方法を説明する

次の文を読み問19～問21に答えよ。(さわ110回予想的中)

A 君(4歳、男児)。眼瞼浮腫と下腿の浮腫に母親が気づき、来院した。尿検査の結果、尿蛋白(4+)であった。血液検査の結果は、総蛋白 3.7g/dL、アルブミン 2.2g/dL、総コレステロール 350mg/dL で、特発性ネフローゼ症候群と診断され入院となった。

問19

入院時の食事で制限するのはどれか。

- 1, 脂質
- 2, 糖質
- 3, 塩分
- 4, タンパク質

問20

入院3日目、A君は機嫌が悪く、母親が抱っこしても泣いている。母親は面会時間の間中付き添っている。

A君のストレスに対する看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, 「少しお外で遊ぼう」
- 2, 「お母さんにもっといてもらおう」
- 3, 「お母さんに好きなお菓子を持ってきておらおう」
- 4, 「おうちから A 君の好きなおもちゃを持ってきてもらおう」

問21

A 君は尿蛋白(-)となりその後は経過良好でプレゾニゾロン20mg/日の退院時処方を受け、退院が決定した。

両親への退院指導で適切なのはどれか。

- 1, 「運動制限があります」
- 2, 「人混みを避けましょう」
- 3, 「内服していれば再発しません」
- 4, 「予防接種は通常通りしてください」

次の文を読み問22～問24に答えよ。(さわ110回予想的中)

Aちゃん(3歳1か月、女児)は両親と3人暮らし。脳性麻痺と診断され、座位の保持や歩行は自力でできず専用の車いすを使用している。食事はきざみ食で柄の太いスプーンとフォークを使うことができるが、こぼすことが多く介助が必要である。排泄・清潔・更衣は全介助が必要である。

問22

定期受診のため外来受診した。バイタルサインは、体温 36.9℃、呼吸数30/分、心拍数110/分、血圧 100/61mmHg であった。手足がこわばっていて、背をそらしており、全身が緊張している。看護師が母親に生活の況を聞いたところ、「眠る時間が遅くなる日がときどきありますが、日中は機嫌よく過ごしています。便は時々出ない日もありますが、大体は毎日出ています」と話した。

母親に指導する内容で優先度が高いのはどれか。

- 1, 感染予防
- 2, 筋緊張の緩和
- 3, 生活リズムの調整
- 4, 排便コントロール

問23

看護師が母親に A ちゃんお食事について尋ねたところ、「食べこぼしが多く、時間がかかり、十分な量も食べられていない気がします」と話した。

A ちゃんの食事に関わる母親への指導で最も適切なのはどれか。

- 1, 「ペースト食にしてみましょう」
- 2, 「食事時間を30分に区切ってみましょう」
- 3, 「ホームルームの依頼を検討しましょう」
- 4, 「経腸栄養剤の開始について医師と相談しましょう」

問24

A ちゃんの母親は現在妊娠12週で順調に経過している。父親は仕事の日には21時に帰宅する。A ちゃんの祖父母は高齢で A ちゃんの介護支援をすることはできない、母親は「出産のときに娘を預かってくれるところを探そうと思っています」と話した。

母親に情報提供する社会資源で最も適切なのはどれか。

- 1, 乳児院
- 2, 病児保育
- 3, レスパイト入院
- 4, 児童自立支援施設